

## 「障がい、GAPと防犯に関するアンケート」実施報告書

「障がい、GAPと防犯に関するアンケート」の実施結果を次のとおり報告します。

アンケートにご協力いただきましたe-モニターの皆様に厚くお礼申し上げます。

### アンケート概要

#### 1 実施期間

平成 29 年 10 月 13 日（金）から 10 月 30 日（月）まで

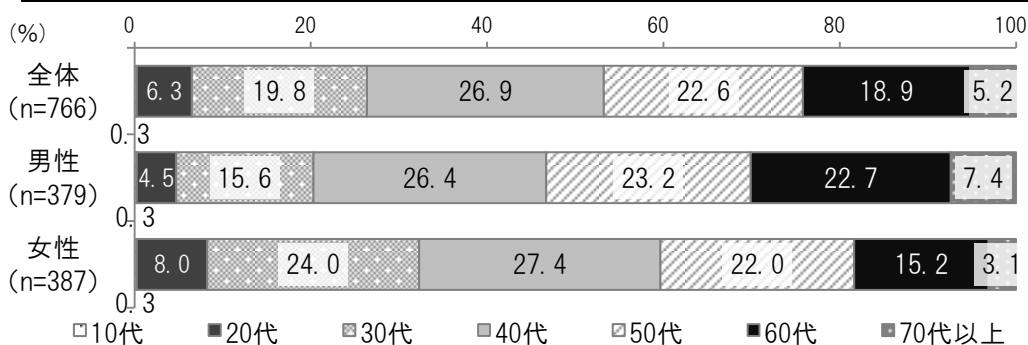
#### 2 回答状況

- ・対象者数：1, 166人
- ・回答者数：766人
- ・回答率：65.7%（※小数点第2位を四捨五入）

#### 3 回答者属性

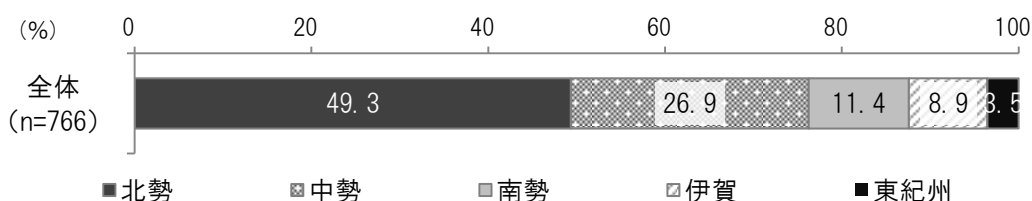
##### 【性別・年代別】

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計
全体	2	48	152	206	173	145	40	766
男性	1	17	59	100	88	86	28	379
女性	1	31	93	106	85	59	12	387



##### 【地域別】

	北勢	中勢	南勢	伊賀	東紀州	総計
全体	378	206	87	68	27	766



## アンケート結果

### ●「障がい」についての回答結果 (Q1～Q9)

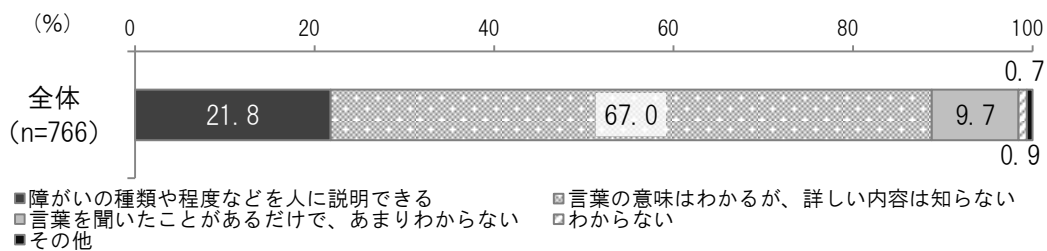
健康福祉部障がい福祉課

#### Q1 障がいについて

あなたは、障がいについて、どの程度理解していますか。あてはまるものを1つ選んでください。

最も多い回答は「言葉の意味はわかるが、詳しい内容は知らない」で67.0%、次いで「障がいの種類や程度などを人に説明できる」が21.8%という結果でした。

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
障がいの種類や程度などを人に説明できる	167		16	29	47	40	23	12
言葉の意味はわかるが、詳しい内容は知らない	513	2	29	105	138	109	104	26
言葉を聞いたことがあるだけで、あまりわからない	74		2	15	18	20	17	2
わからない	7		1	2	2	1	1	
その他	5			1	1	3		

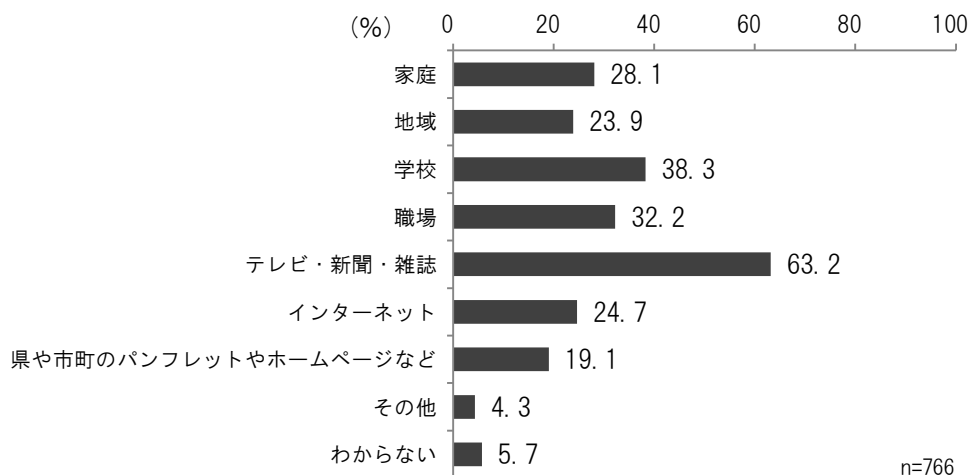


#### Q2 障がいを知る機会について

あなたは、障がいや障がい者について、どこかで学んだり、聞いたりしたことはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

最も多い回答は「テレビ・新聞・雑誌」(484)で、他の選択肢の約2倍の回答数がありました。

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
家庭	215	2	13	41	63	40	39	17
地域	183	2	13	21	43	35	49	20
学校	293	2	42	97	84	44	20	4
職場	247		14	52	58	69	48	6
テレビ・新聞・雑誌	484	2	29	90	123	105	100	35
インターネット	189	1	18	37	59	29	32	13
県や市町のパンフレットやホームページなど	146		5	15	20	35	49	22
その他	33		2	2	7	8	8	6
わからない	44		1	6	18	11	8	

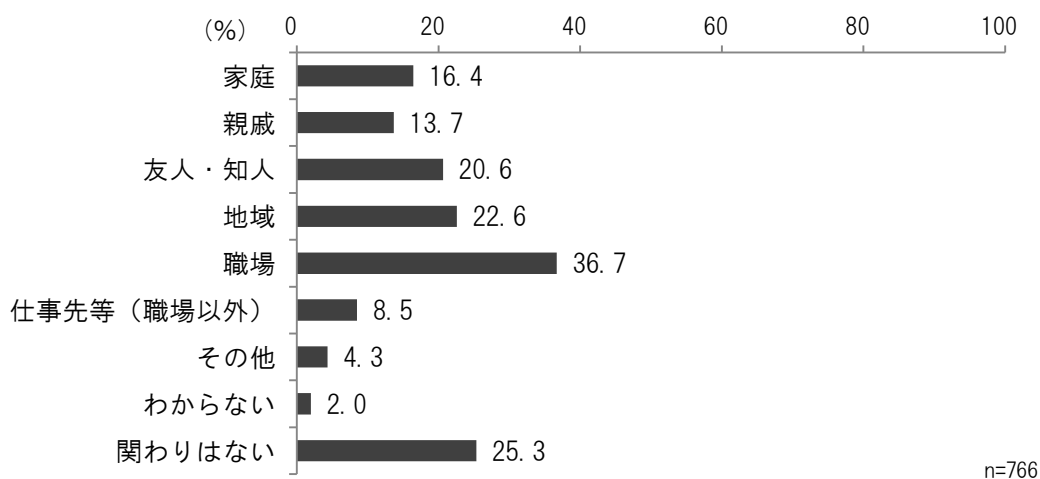


### Q3 障がい者との関わりについて

あなたは、現在、どのような場面で障がい者と関わり（関係を持ったり、つながりがあったりすること）がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

最も多い回答は「職場」で281、次いで「関わりはない」が194という結果でした。

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
家庭	126		6	21	31	31	26	11
親戚	105		5	17	23	22	33	5
友人・知人	158	1	3	29	47	31	35	12
地域	173	1	13	28	36	34	45	16
職場	281		21	59	88	70	37	6
仕事先等（職場以外）	65		3	12	16	16	13	5
その他	33		1	1	10	6	9	6
わからない	15		1	3	6	5		
関わりはない	194	1	12	49	50	40	35	7

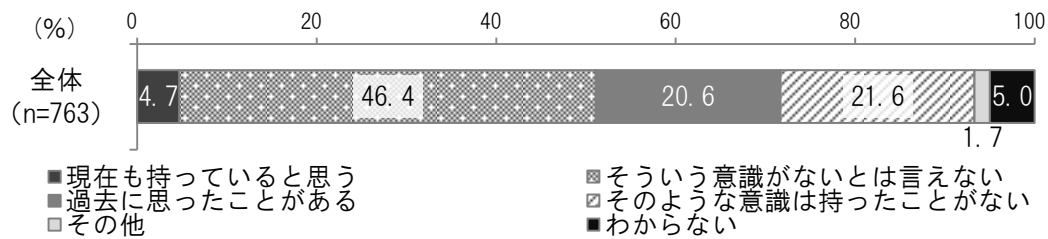


#### Q 4 障がい者に対する偏見・差別について【自由回答】

あなたは、障がい者に対して差別や偏見の意識を持ったことがありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

最も多い回答は「そういう意識がないとは言えない」で46.4%、次いで「過去に思ったことがある」と「そのような意識は持ったことがない」がほぼ同じ割合（20.6%、21.6%）という結果でした。

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
現在も持っていると思う	36		8	10	9	4	5	
そういう意識がないとは言えない	354	1	25	83	103	77	55	10
過去に思ったことがある	157		4	31	46	37	28	11
そのような意識は持ったことがない	165	1	7	19	30	39	52	17
その他	13			2	5		4	2
わからない	38		4	7	11	15	1	

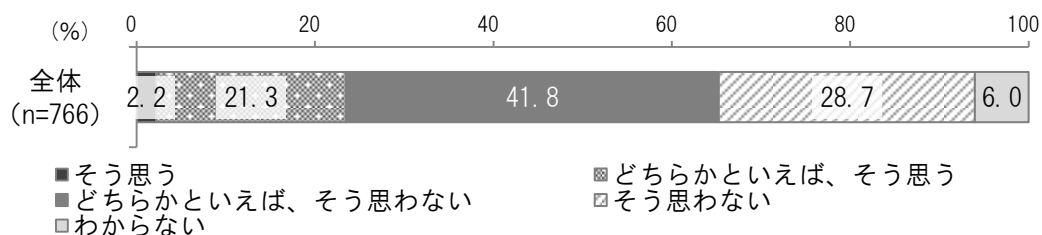


#### Q 5 障がい者への差別・偏見のない社会について

あなたは、障がい者に対する差別や偏見のない社会になっていると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

最も多い回答は「どちらかといえば、そう思わない」で41.8%、次いで「そう思わない」が28.7%という結果でした。

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
そう思う	17		1	3	3	6	2	2
どちらかといえば、そう思う	163		8	30	35	37	42	11
どちらかといえば、そう思わない	320	1	21	51	96	76	58	17
そう思わない	220		15	55	59	45	36	10
わからない	46	1	3	13	13	9	7	

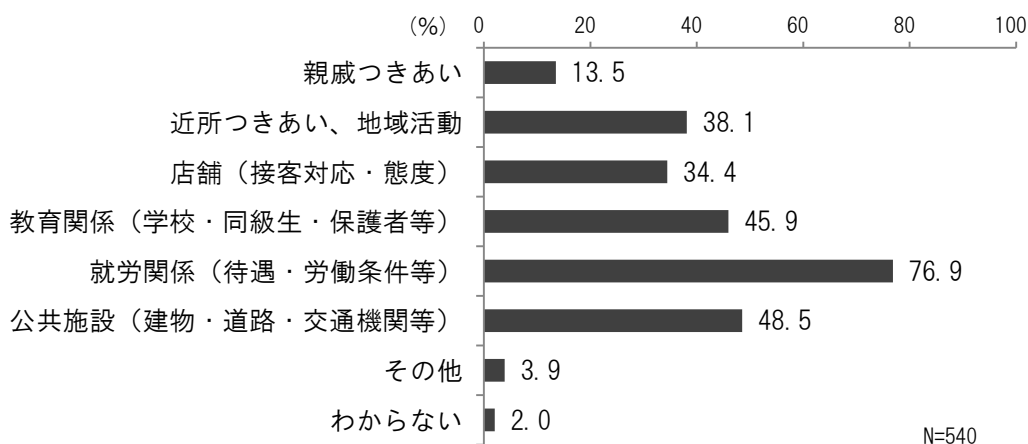


### Q 6 障がい者への差別・偏見を感じる場面について

Q 5で「どちらかと言えば、そう思わない」、「そう思わない」と回答された方にお聞きします。あなたは、社会のどのような場面において差別や偏見が残っていると感じますか。あてはまるものをすべて選んでください。

最も多い回答は「就労関係（待遇・労働条件等）」で415、次いで「教育関係（学校・同級生・保護者等）」と「公共施設（建物・道路・交通機関等）」がほぼ同じ数（248、262）という結果でした。

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
親戚つきあい	73		3	23	23	14	10	
近所つきあい、地域活動	206		20	45	54	41	37	9
店舗（接客対応・態度）	186		18	41	44	48	27	8
教育関係（学校・同級生・保護者等）	248		16	60	76	55	31	10
就労関係（待遇・労働条件等）	415	1	28	78	120	96	68	24
公共施設（建物・道路・交通機関等）	262		15	46	75	66	47	13
その他	21		1	2	6	6	6	
わからない	11			2	2	3	3	1

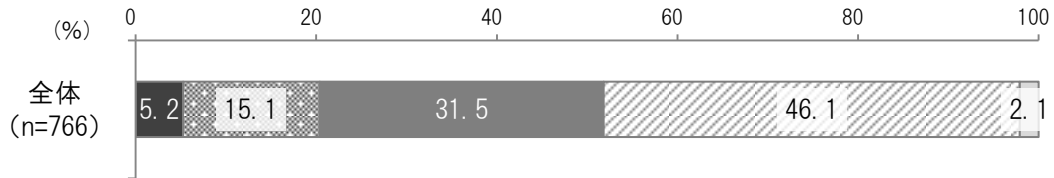


### Q 7 障害者差別解消法について

障がい者に対する不当な差別的扱いを禁止し、社会的障壁に関して合理的配慮を求めることなどを規定した「障害者差別解消法」が平成28年4月1日に施行されましたが、あなたは、この法律を知っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

「よく知っている」は5.2%、「少し知っている」は15.1%でした。その一方で「あまり知らない」は31.5%、「まったく知らない」は46.1%という結果となりました。

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
よく知っている	40		2	3	13	15	4	3
少し知っている	116		8	22	26	23	27	10
あまり知らない	241	2	8	38	66	56	57	14
まったく知らない	353		28	83	98	76	56	12
わからない	16		2	6	3	3	1	1



■よく知っている ■少し知っている ■あまり知らない □まったく知らない □わからない

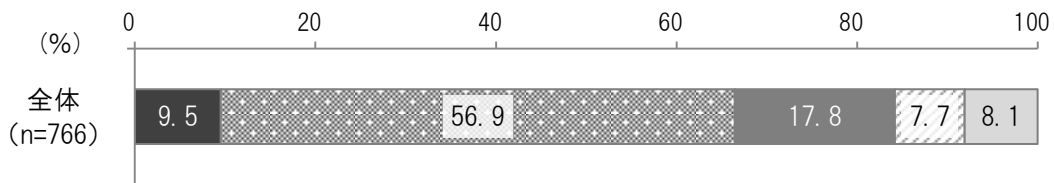
### Q 8 障がい者に対する施策推進について

あなたは、以前に比べて障がい者に対する理解が進んでいると感じますか。あてはまるものを1つ選んでください。

最も多い回答は「どちらかといえば感じる」で56.9%、次いで「どちらかといえば感じない」が17.8%という結果でした。

また、肯定的な回答（「感じる」と「どちらかといえば感じる」の合計）は、66.4%でした。

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
感じる	73		1	18	16	15	14	9
どちらかといえば感じる	436	2	30	69	115	103	94	23
どちらかといえば感じない	136		8	29	47	25	20	7
感じない	59		3	21	15	14	5	1
わからない	62		6	15	13	16	12	



■感じる ■どちらかといえば感じる ■どちらかといえば感じない □感じない □わからない

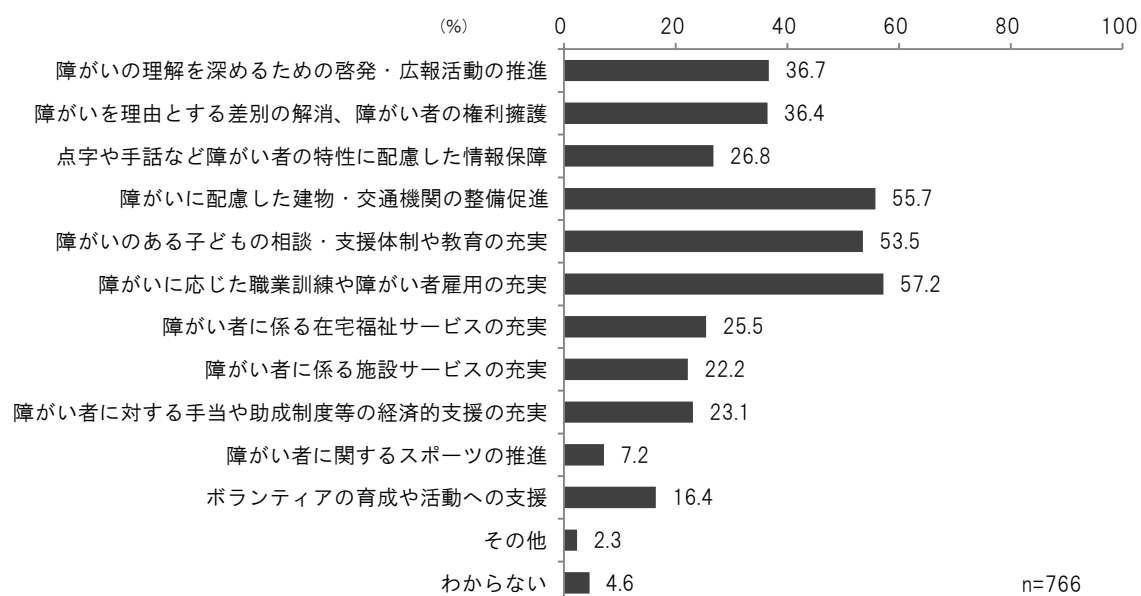
### Q 9 障がい者の施策推進について

障がい者に関する県の施策のうち、あなたが最も力を入れる必要があると思う分野は何ですか。あてはまるものを5つまで選んでください。

「障がい者に配慮した建物・交通機関の整備促進」、「障がいのある子どもの相談・支援体制や教育の充実」、「障がいに応じた職業訓練や障がい者雇用の充実」がほぼ同じ回答数（427、410、438）で最上位を占めました。次いで、「障がい

の理解を深めるための啓発・広報活動の推進」、「障がい者を理由とする差別の解消、障がい者の権利擁護」が多くを占めました（281、279）。

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
障がいの理解を深めるための啓発・広報活動の推進	281	2	21	53	60	59	67	19
障がい者を理由とする差別の解消、障がい者の権利擁護	279	1	16	40	60	72	65	25
点字や手話など障がい者の特性に配慮した情報保障	205	2	10	43	58	41	39	12
障がいに配慮した建物・交通機関の整備促進	427	1	24	76	95	108	95	28
障がいのある子どもの相談・支援体制や教育の充実	410	1	26	93	104	81	84	21
障がいに応じた職業訓練や障がい者雇用の充実	438	2	25	84	113	100	85	29
障がい者に係る在宅福祉サービスの充実	195		10	36	51	49	42	7
障がい者に係る施設サービスの充実	170	1	13	32	40	34	42	8
障がい者に対する手当や助成制度等の経済的支援の充実	177		8	29	48	42	39	11
障がい者に関するスポーツの推進	55		4	7	10	17	14	3
ボランティアの育成や活動への支援	126		6	14	26	27	42	11
その他	18		1	5	4	2	4	2
わからない	35		3	5	17	5	4	1



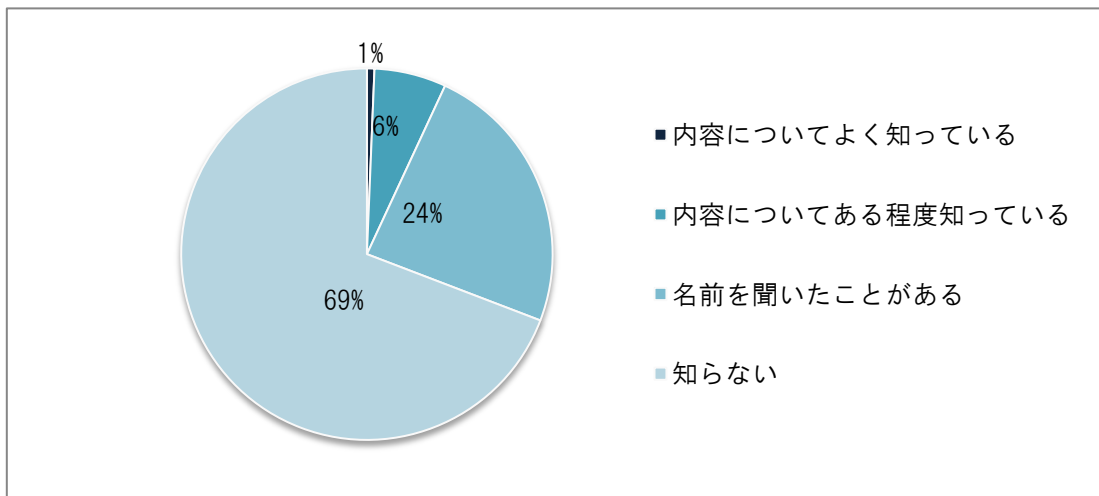
## アンケート結果

### ● 「GAP」についての回答結果 (Q10~Q15)

農林水産部農産園芸課

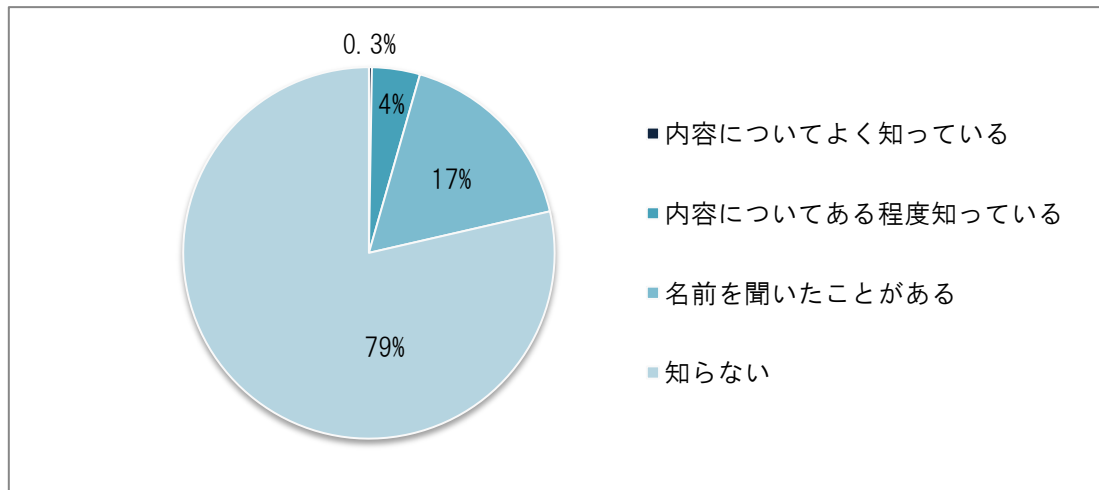
**Q10 GAP (ギャップ : Good Agricultural Practice) 認証について**  
世界の大手スーパーや食品メーカーなどが農産物を仕入れる際の基準に活用しているGAPという認証制度があります。あなたは、このGAP認証をご存じですか。あてはまるものを1つ選んでください。

GAPを「よく知っている」、「ある程度知っている」と回答された方は合わせて53名(7%)でした。



**Q11 畜産GAP (JGAP家畜・畜産物認証) について**  
畜産物についてもGAP認証制度が平成29年3月にできました。まだ県内に認証取得農場はありませんが、あなたは、このGAP認証(畜産物)をご存じですか。あてはまるものを1つ選んでください。

畜産GAPを「よく知っている」、「ある程度知っている」と回答された方は合わせて34名(4%)でした。

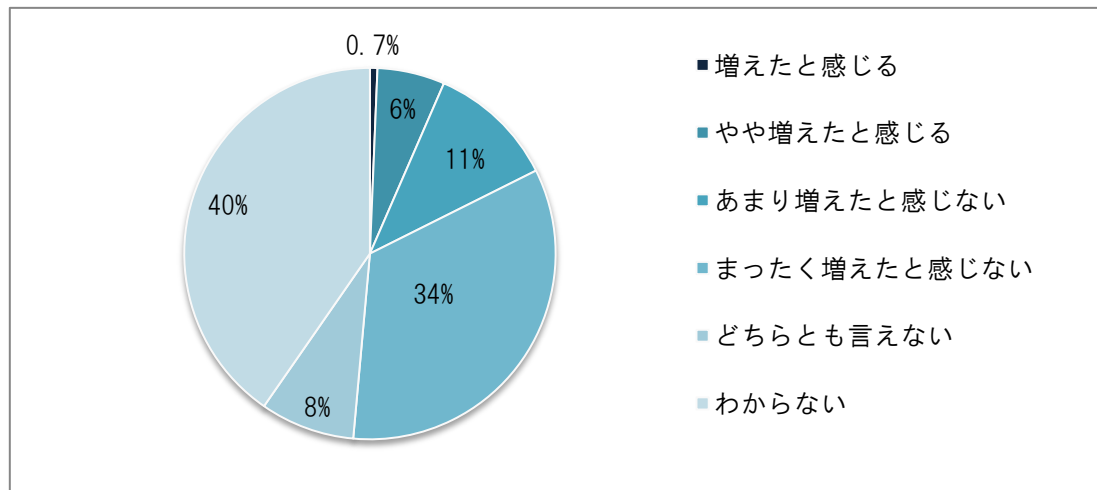




### Q12 GAP認証を知る機会について

最近、東京オリンピック・パラリンピックのニュース等で、GAP認証が取り上げられていますが、あなたは、GAP認証について見たり聞いたりする機会が増えたと感じますか。あてはまるものを1つ選んでください。

GAP認証を知る機会が「増えた」、「やや増えた」と感じると回答された方は50名（7%）でした。



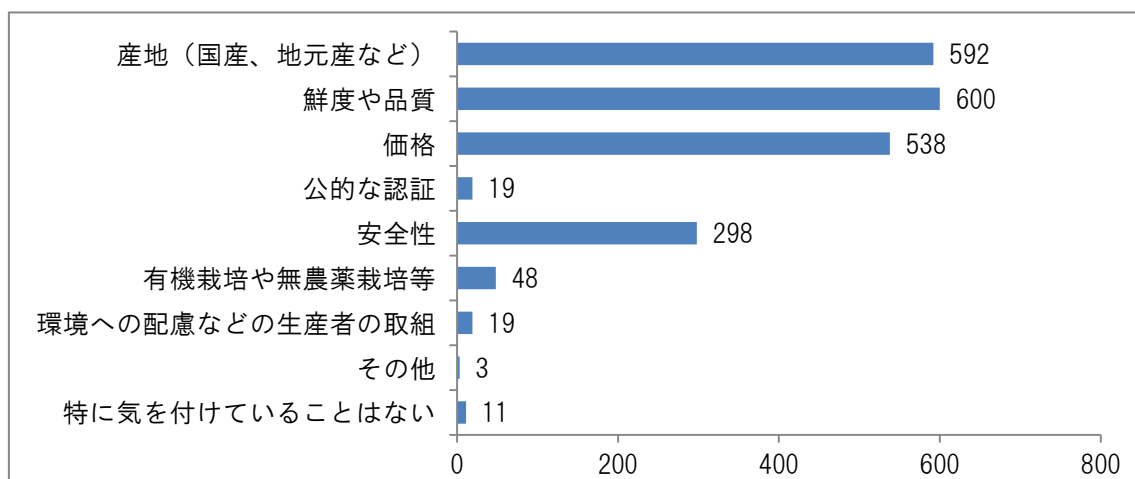
### Q13 食品を購入するときの基準について

あなたは、食品（野菜・果物・米・お茶・肉等）を、何を意識して購入していますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

食品を購入するとき何を意識して購入するかをお聞きしたところ、「鮮度や品質」と回答された方が600名（78%）、「産地（国産、地元産など）」と回答された方が592名（77%）、「価格」と回答された方が538名（70%）でした。

「その他」の回答では、以下のような意見がありました。

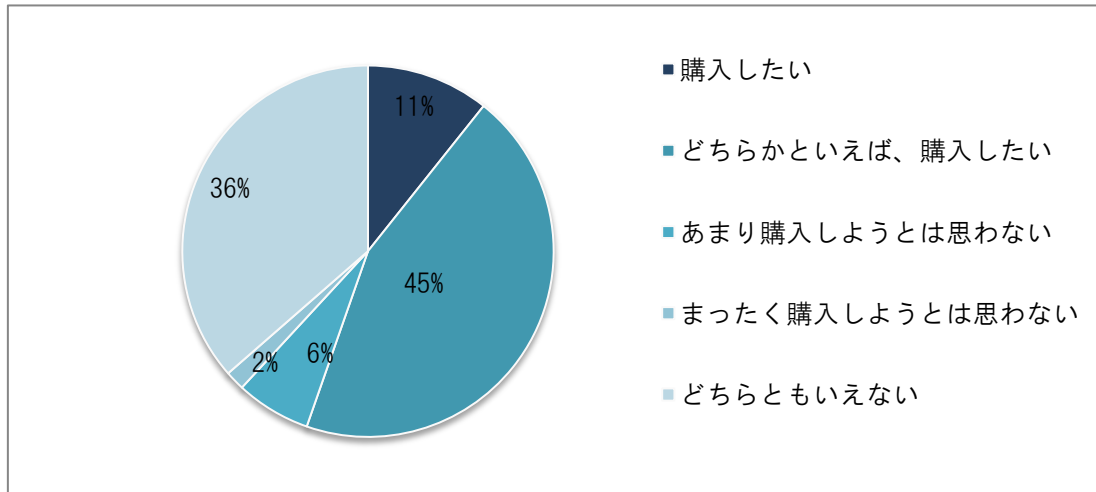
- ・産地を品質、安全等の目安にしている
- ・親戚から購入している
- ・賞味期限



#### Q14 GAP認証農産物の購入について

あなたはGAP認証農産物を購入したいと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

GAP認証農産物を「購入したい」、「どちらかといえば、購入したい」と回答された方は、424名（55%）でした。



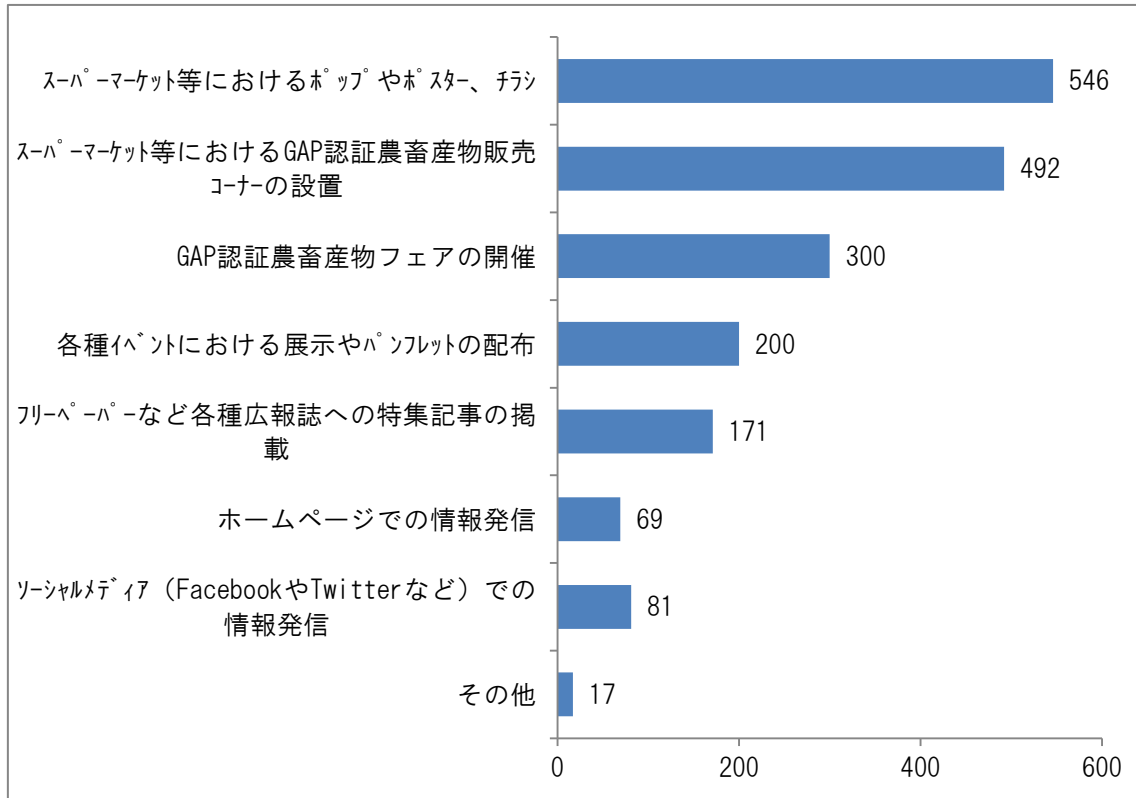
#### Q15 GAP認証のPRについて

GAP認証をPRするために、どのような方法が効果的だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

GAP認証をPRするために効果的な方法をお聞きしたところ、「スーパーマーケット等におけるポップやポスター、チラシ」と回答された方が546名（71%）、「スーパーマーケット等におけるGAP認証農畜産物販売コーナーの設置」と回答された方が492名（64%）、「GAP認証農畜産物フェアの開催」が300名（39%）でした。

「その他」の回答では、以下のような意見がありました。

- ・一件、一件のポスティングでビラ配り
- ・テレビや新聞（3名）
- ・商品に添付して認知させる
- ・行政機関の啓発
- ・必要ない（3名）
- ・認証機関が多すぎる。従ってまた消えていく。
- ・県民向広報
- ・大手衣料品店GAPと同じ名前、間違えやすい。英語の頭文字にする理由は何？
- ・PRする理由が分からない
- ・有名人とのコラボ



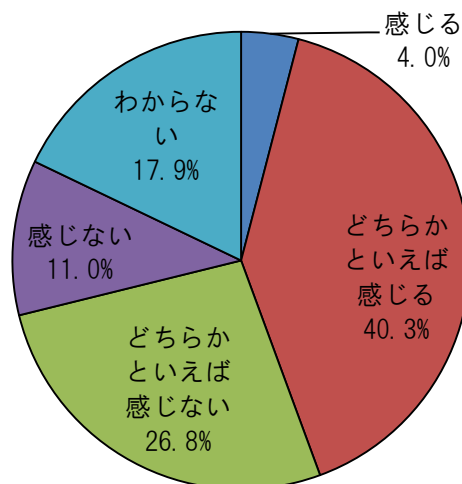
## アンケート結果

### ●「防犯」についての回答結果（Q16～Q18） 環境生活部くらし・交通安全課

#### Q16 子どもに対する犯罪について

あなたは、お住まいの地域の中で、「子ども」が犯罪被害から守られていると感じますか。

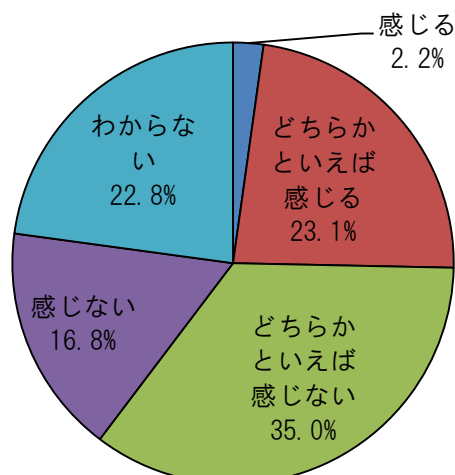
地域の中で子どもが犯罪から守られているかについて、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した方が 44.3%と、「感じない」、「どちらかといえば感じない」と回答した方の 37.8%を上回っています。



#### Q17 女性に対する犯罪について

あなたは、お住まいの地域の中で、「女性」が犯罪被害から守られていると感じますか。

地域の中で女性が犯罪から守られているかについて、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した方が 25.3%と、「感じない」、「どちらかといえば感じない」と回答した方の 51.8%を大きく下回っています。



**Q18 高齢者に対する犯罪について**

あなたは、お住まいの地域の中で、「高齢者」が犯罪被害から守られていると感じますか。

地域の中で高齢者が犯罪から守られているかについて、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した方が42.2%と、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した方が42.3%と概ね同じ割合となっています。

